



【御崎祭り】

みなみおおすみ **みんなの議会**

11月・12月会議

所管事務調査報告

補正予算

8名の議員による一般質問

町民と行政のかけはし

第47号

平成29年
3月号

新しい年を迎え

～飛躍の年～



南大隅町議会議長 大村 明雄

新しい年を迎え、早いもので2か月が過ぎました。

町民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたことと、お慶びを申し上げます。日頃より、南大隅町議会の活動に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

南大隅町議会としましては、通年議会や議会報告会の開催など、町民に身近で、開かれた議会を目指し、10名という少人数ではありますが、フットワーク良く、日々、数多くの課題に取り組んでまいりました。

本町は、人口減少による少子高齢化や担い手不足の解消等が喫緊の課題であり、移住・定住の促進と子育てしやすい町づくりを通じた、人口減少対策を積極的に実施するとともに、農林水産業をはじめとする地域産業の振興や、佐多岬・雄川の滝の再開発に伴う観光産業の振興、併せて、災害に強い町づくりに取り組む事が必要だと感じております。

また、南大隅町議会は今年、改選の年であり、現行の体制は、3月会議までとなります。これまでご理解、ご協力を賜りました町民の皆様方に御礼申し上げますと共に、次期体制の本町議会に対しましても、これまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、議会を代表しまして、年初めの挨拶と致します。



道の駅 南国

高知県南国市



「道の駅南国」は、四国自動車道南国インターチェンジの近くにあり、南国市が50・5%の株を保有する株式会社道の駅が運営するもので、観光バスも多く立ち寄る道の駅です。幹線道路沿いの県有地に、特産品販売コーナー・レストラン・案内所等を備えており、JAなんごくが経営する野菜直売所「風良里」も併設し、年間の売り上げが3億6千万円、来訪者は32万人という四国でも有数の道の駅です。



また、レストランの定休日を活用し、地元農家の女性グループが運営する農家レストランが大好評で、地元の食材を使ったランチバイキングが提供されています。それを目当てに訪れる客も多数あり、地元食材をPRする絶好の場所にもなっています。地元の農産物や加工品等と来訪者を結びつけ、地元産品の販売促進を図る、ひとつのモデルケースとして、本町でも参考にすべきであると考えます。

足摺岬と観光産業

高知県土佐清水市



土佐清水市は、四国最南端の足摺岬を有する市で、高知市より四国自動車道等を利用して、所要時間3時間という遠隔地であります。主な産業は漁業と観光で「足摺宇和海国立公園」に指定された自然豊かな町でした。本町と同様で、県庁所在地より遠隔の地にならながら、平成5年をピークに減少傾向にあるとの事だが、平成27年の観光客数は、69万1千人で、本町からすると羨ましい観光客数であります。



特産品は宗田鰹で、それら水産物の加工施設を管理運営する土佐食株式会社は、市が出資し第三セクターで設立したもので、四国・関西を中心に販売まで行っています。農産物の加工施設も土佐清水市が建設し運営を行っています。これにより、雇用の促進と産業の振興が図られていました。また観光は団体客の多い足摺岬地区と体験型観光に力を注ぐ竜串地区に分かれ、観光客のニーズに応じた施策がとられています。

一般会計補正予算

732,850千円を可決！

12月13日より開催された、議会定例会12月会議に於いて上程された、一般会計補正予算7億3千2百85万円と国民健康保険事業や簡易水道事業などの特別会計を含め、総額7億3千9百85万9千円を可決し、これらを含む17件の議案を全て可決しました。また、決算審査特別委員会に於いて認定されており、平成27年度歳入歳出決算の8件も認定しております。

一般会計補正予算の主なものは、「南大隅町産業振興基金事業」の1億円をはじめとし、「佐多岬案内所整備委託」、台風16号関連では、災害復旧に対して助成を行う「被災農業者向け経営体育成支援事業」や「根占港浮桟橋修繕」、「大泊ゲートボール場屋根撤去」等です。

被災農業者向け経営体育成支援事業

平成28年9月に襲来した台風16号による農業用施設や畜舎等の被害復旧に対して助成を行うものです。全・半壊につきましては、国3割、県2割の助成がありますが、一部損壊に対しては、町が1割以内で助成する事を条件に、国が3割の助成を行う事業です。



畜産施設



園芸施設

143,464千円

- ・畜産施設助成額 118,748千円
 - 全・半壊 117,466千円
 - 一部損壊 1,282千円
- ・園芸施設助成額 24,716千円
 - 全・半壊 20,412千円
 - 一部損壊 4,304千円

イノシシ用箱わな購入

農作物の鳥獣被害対策として、害獣の捕獲等による、被害の軽減に努めております。今回、その一環として、町で箱わなを購入し、自治会への貸出しを計画しています。



900千円

イノシシ用箱わな 30 基

大泊ゲートボール場屋根撤去

台風 16 号で倒壊した大泊ゲートボール場屋根等を撤去します。

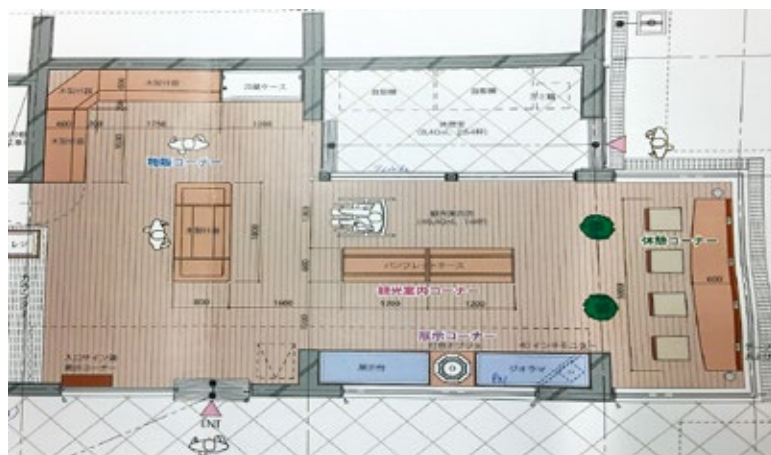


1,500千円

請負工事費 1,500千円

佐多岬案内所整備委託

佐多岬公園エントランス内において、佐多岬観光案内所を設置します。観光案内所は、佐多岬をはじめとした美しい景観等の案内機能や特産品やソフトクリーム等の販売機能、観光客が利用しやすい休憩機能を備えており来訪者の満足度向上及び充実した観光案内を図る為の備品等の整備を実施します。



17,578千円

委託料 17,578千円 (町負担額)

11月・12月会議 一目でわかる審議結果

○全会一致の議案

議案 第27号	請負契約(社会資本整備総合交付金事業(27-A121)第二岩崎隧道補修工事)の締結について議決を求める件	可 決
議案 第28号	請負契約(平成28年度佐多中央地区簡易水道統合事業工事6工区)の締結について議決を求める件	可 決
議案 第29号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第13号)について	可 決
議案 第30号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第14号)について	可 決
議案 第31号	南大隅町税条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第32号	南大隅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第33号	南大隅町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第34号	南大隅町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第35号	南大隅町町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第36号	南大隅町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第37号	南大隅町農業委員会の選挙による委員定数並びに選挙区の設定及び各選挙区において選挙すべき委員の定数に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第38号	南大隅町佐多岬ふれあいセンター条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
議案 第39号	南大隅町産業振興基金条例制定の件	可 決
議案 第40号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第15号)について	可 決
議案 第41号	平成28年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案 第42号	平成28年度南大隅町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案 第43号	平成28年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案 第44号	平成28年度南大隅町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案 第45号	「請負契約(牛牧橋新設工事(3工区))の締結について」の議決の一部変更について	可 決
議案 第46号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第16号)について	可 決
発意 第2号	南大隅町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件	可 決
発議 第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	可 決
認定 第1号	平成27年度南大隅町一般会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第2号	平成27年度南大隅町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第3号	平成27年度南大隅町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第4号	平成27年度南大隅町診療所事業委特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第5号	平成27年度南大隅町介護保険事業(保険事業勘定)特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第6号	平成27年度南大隅町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第7号	平成27年度南大隅町下水道事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定
認定 第8号	平成27年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件	認 定

8名の議員が町長・教育長に 町政を問う!!

一般質問（12月会議）



掲載順	質問事項	質問議員
1	・庁舎の耐震化に伴う庁舎のあり方について	水谷 俊一
2	・観光客への対応について ・年間を通じての町内イベントのあり方について ・9月の台風16号の検証と今後の対策について	松元 勇治
3	・災害対策について ・職員の服務について ・年末年始の佐多岬来訪者への対応について	日高 孝壽
4	・財政運営方針について ・税の徴収率向上について ・道路の整備について	井之上 一弘
5	・大泊地区屋内ゲートボール場について ・ハイビスカス再植栽計画について ・高速船（なんきゅう）について ・地域高規格道路大隅縦貫道について ・県道内之浦・佐多線について	川原 拓郎
6	・介護保険事業について ・ふるさと納税推進事業について ・農道路面補修について	大久保 孝司
7	・技術員採用について ・大泊ゲートボール場改修及び周辺整備について	持留 秋男
8	・地域活性化事業について ・多目的健康広場について ・パノラマパークへの改良事業について	浪瀬 敦郎

庁舎の耐震化に伴う庁舎のあり方について問う



水谷 俊一 議員

耐震診断を実施し、耐震性能はNGであるという判定結果であったにも関わらず、これまで耐震補強をしなかった理由を伺います。

【町長】 当時は、学校の耐震化に着手しておりました。また、地震に対する危機意識が、本町に限らず、類似自治体に於いても希薄であったと考えられます。

【水谷】 耐震補強工事後の庁舎の耐用年数は15年程度であるとする根拠を伺います。

【町長】 財務省令等を参考に専門的見地からのご意見を賜り、耐震補強による耐用年数の向上を10年程度と設定し、耐用年数を60年と算出しております。現在、築43年が経過しており、補強工事期間の2年を加味し、残年数を15年と算出しております。

【水谷】 財務省令で定める耐用年数は建物の減価償却を示すもので、資産価値を

表すものであります。これで、あと15年しか使用できないとするのは、まったく当たらない。今回、調査の訪れた、高知県土佐清水市の庁舎は、昭和44年に建設された建物ですが、昨年、耐震改修工事を行っております。築56年経つ鹿児島県体育館は改修工事をして使用すると発表されました。それでも、耐震改修工事後あと15年しか使用できないと考えられるか伺います。

【町長】 15年という数字は、概略の数字で比較・検討の為に出した数字だと思えます。

【水谷】 耐震基準とは、大きな地震では、改修工事を行えば使用できるとする基準です。しかし、今回、計画されている改修工事は制振ブレースの取付です。制振基準とは、大きな地震でも改修工事することなく使用できる基準です。こういう事は正確に伝えるべきです。耐震の為だけであれば新庁舎を建てる必要はあり

ません。改修工事で十分です。

【水谷】 本町における災害時の避難所とされる建物の耐震診断結果を伺います。

【町長】 本町には、指定避難所が22ヶ所あります。その内、現行の建築基準法の適用以前に建築され、耐震改修がなされていない施設が「町武道館」「町老人福祉センター」「旧辺田別府分校」の3か所です。これらの避難所につきましては、避難所の見直しや、より安全な避難所として利用出来るよう施設の耐震化を含め検討して参ります。

【水谷】 庁舎の改修と、時を同じくして避難所の改修も考えていくべきだと考えます。

【水谷】 合併特例債を利用して、実施すべき事業は新庁舎の改築工事ではなく町民の為に必要な、実施すべき事業がまだまだ他にあると考えるが、町長の考えを

伺います。

【町長】 庁舎の整備事業については、耐震補強、全面改築いずれにしても事業費が多額になる為、有利な地方債である合併特例債の有効期限である平成31年度までの事業執行に向け検討を進めています。今後やるべき他の建設事業につきましては、優先順位を設定し計画的に実施すると共に、事業ごとに適切な財源措置を講じ進めてまいりたいと考えます。

【水谷】 今後、地方交付税は減少していく事が予想され、自主財源に乏しい本町の財政運営は難しくなることが予想されます。改修で済む建物は改修で済ませ、出費は最小限に抑え、今後町を維持していく為に努力されることを求めます。

観光客への 対応について 問う



松元 勇治 議員

【松元】 なんとん市場に併設して観光協会による案内所は設置できないか伺います。

【町長】 指宿からフェリーを利用して来訪した観光客につきましては、なんとん市場やネッピー館がその窓口となる事は十分想定されます。今後、新たな高速船の就航や指宿からの来訪見込みを鑑みますと更なる案内体制の強化として、人員配置や案内所の必要性は増すと思います。観光協会や指定管理者、出荷協議会との調整を図りながら、来る佐多岬リニョーアルオーブ

ンに備えて、観光案内体制の構築を目指したいと考えます。

【松元】 なんとん市場の店内にパンフを置いただけでは対応できません。観光協会の職員は役場内ではなく町の玄関口において欲しいと考えます。

【松元】 2年後のNHK大河ドラマ「西郷どん」放映に当たり、西郷南洲にゆかりのある本町の対応はどのように考えられるか(図書館2階の資料室で幕末維新企画展を行うなど)伺います。

【教育長】 平成30年佐多岬リニョーアルオープンに合わせて、NHK大河ドラマ西郷どんや明治維新150周年により多くの観光客が予想されます。今後は、本町にゆかりのある偉人の方々の展示を歴史研究会や文化財保護審議委員の方々と連携を図りながら、保存管理も含め検討します。

年間を通じての 町内イベントの あり方について 問う

【松元】 各イベントを集約できないか、加えて各イベントを企画する実行委員会の在り方について伺います。

【町長】 町の主要なイベント事業は、いずれも町民の融和と親睦を図り、また、町外からの集客を目的に考えています。集約については、町民文化祭と生涯学習大会を集約開催しました。その他にもイベント事業の廃止・統合・集約について検討した経緯がございますが、今後も、集約の是非について関係機関、各課と協議検討して参ります。また、実行委員会の在り方については、各種イベントの実行委員会や総会の早期開催、積極的なPDCAサイクルに沿った管理体制づくりを推進して参ります。

9月の台風 16号の検証と 今後の対策に ついて問う

【松元】 避難状況は、どのようなものであったか伺います。

【町長】 避難所は、19日午後4時に町内15カ所を開設しました。避難された方は最大で19日午後10時時点で50世帯67名であり、自主的に地域の公民館等へ避難された方33名を含めると100名の方が避難されております。

【松元】 福祉避難所の開設は考えられないか伺います。

【町長】 本町におきましては、福祉避難所としての指定はまだされておりません。台風16号の折、要介護者の避難を誘導する際にその必要性は十分感じており、福祉避難所としての必要条件

の整備を併せて根占地区、佐多地区にそれぞれ設置できないか協議を進めているところです。

【松元】 施設の被害状況について台風養生による被害減少対策はどのように考えるか伺います。

【町長】 町の施設では、根占中学校・第一佐多中学校のサッカーゴールやB&Gプール屋根シート、消防団詰所のシャッターなどに被害が出ております。今後は、台風進路の早期把握に務め早目の養生対策を図り、被害の縮小に取組めます。

【松元】 台風は予測が十分できますので、各課が管理する施設に関しては、減災の観点からも、台風養生は十分に実施していただきたいと考えます。

災害対策について問う



日高 孝壽 議員

【日高】 民間を含めて台風16号関係の被害状況を伺います。

【町長】 住家の一部損壊264棟、非住家の全壊・半壊・一部損壊を含めて145棟。農作物の被害につきましては226ヘクタールで約8千7百万円、農業施設の全半壊・一部損壊合計で、約3億1千6百万円。土木関係では、倒木や崩土除去に係る補修経費が、町道で50件、6百64万1千円。林道が10件、1百54万4千円。河川が6件、1百1万4千円。町有施設等の補修経費が全体で2千7百21万4千円となっております。

【日高】 復旧の進捗状況を伺います。

【町長】 町有施設等の発注は、ほぼ完了し、復旧は着々と進んでおります。民間の住家も含め、概ね施設等の修繕は完了しているところでありますが、一部農業関連施設や民間住家において、業者等が対応できない個所もあり、応急対応もある状況です。なお、農業関連施設については、国の支援事業等を活用し、早急な復旧を目指します。

【日高】 災害に強いまちづくりを進めるための今後の取り組みについて伺います。

【町長】 自主防災組織による防災意識の向上や消防団員の加入促進、女性消防団の育成を図っております。また、鹿児島県河川防災情報システムを活用し避難情

報の発令を行うと共に、ハード面として災害発生に迅速に対応するため町内全域に気象観測装置を設置しています。

職員の服務について問う

【日高】 町職員の超過勤務の実態を伺います。

【町長】 正規の勤務時間を超えて勤務命令を受けた職員については、基本的に時間外手当を支給し、町民も一緒にボランティア等については、振替・代休で処理しております。

【日高】 勤務命令を受けた職員については時間外手当を支給しているとの事であるが、支給総額と延べ人数を伺います。

【総務課長】 4月から10月までの時間外手当の支給額は、選挙の時間外手当を除

いて、約280万円、延245名の職員に支給しております。

【日高】 休暇の取り扱い、休日、祝日の出勤状況、代替休暇の取得状況について伺います。

【町長】 勤務に伴う振替・代休の取得状況は、業務の関係もあり、全てが取得できない状況がありますので職員の健康面から、業務を各課内で調整しながら振替・代休の完全取得が出来るよう指導して参りたいと考えます。

【日高】 職員の健康が一番大事であると思います。住民サービスに繋がると考えるので健康管理には十分配慮しながら業務に従事させ超過勤務に対する対価を検討されるよう要望します。

【日高】 36協定の締結状況について伺います。

【町長】 本町に於いては現業職の職員が存在しない事

から労働基準法第36条に基づき時間外労働に関する協定は締結しておりません。

年末年始の佐多岬来訪者について問う

【日高】 年末年始の工事休業時の来訪者への対応について事前周知を含めて伺います。

【町長】 佐多岬公園開園時間内は、第2駐車場からシャトルバスを運行します。周知は、看板、広報誌、町のホームページ、新聞などを活用する考えです。

【日高】 シャトルバスの運行体制について伺います。

【町長】 佐多岬公園開園時間内は、田尻集落先第2駐車場からエントランス広場まで、15分間隔でシャトルバスの運行を実施します。

財政運営方針について問う



井之上 一弘 議員

【井之上】 職員の定数管理の取組む方針について伺います。

【町長】 合併時、168名の職員数が現在、127名と59名減少しております。また、40歳以下の職員が32名と全職員の約25%と若年層の割合が極端に減少しており、近年は、新卒のみならず社会人も含めた職員の採用を行い、年齢構成の平準化を図っています。今後の人口減少や交付税の縮減などの状況を考慮し、嘱託職員や再任用職員の登用を含め、適正な定員管理に務めていく考えです。

【井之上】 事務管理経費等の削減について伺います。

【町長】 現在、来年度予算の編成作業に入っておりますが、編成方針内に「前例踏襲、既得権的な要求を慎む事」「必要最小限のものを要求する事」「事業の合理化に努める事」等を盛り込み関係各課に適切な予算要求と業務執行を指示しています。事務管理経費等の削減は財務状況の良し悪しに関わらず、永遠に取り組むべき課題であると認識し、今後も経費削減に取り組んでまいります。

税の徴収率向上について問う

【井之上】 納税意欲の向上対策について伺います。

【町長】 平成27年度町税につきまして、現年課税分徴収率は、98・99%で対前年度比0・11ポイントの増、滞納繰越分徴収率は、17・02%で対前年度1・24ポイント増となっています。本町では、平成24年度に滞納管理システムを導入し、督促状の発送及び滞納者の給与、預金等の財産調査を行い差し押さえ等の滞納処分を実施しており、徴収率向上に繋がっていると考えます。納税意欲の向上対策として、町広報誌や防災無線等を活用し、制度理解や納税についてのお知らせを行っています。

【井之上】 滞納者対策について伺います。

【町長】 町税などを滞納する事は、住民サービスの低下を招くばかりか、納期期限内に納付している方との公平性が保てない事になります。こうした事態を回避するために、再三の納付催告に対し反応が無い場合は、法令に基づき滞納処分を行っております。督促を行っても納付に応じない場合は、滞納者の財産を把握するために、官公署、金融機関、勤務先等に対して財産調査を行います。また、財産の発見時、差し押さえなどの必要がある場合は対応しているところです。

道路の整備について問う

【井之上】 郡坂元自治会から、上之原十文字間の落石防止対策について伺います。

【町長】 町道坂元・上之原線につきましては法面対策等を講じているところですが、当路線の一部区間で落石が確認されておりますので、現地調査を踏まえ、効果的な対策を講じたいと考えております。



大泊地区屋内 ゲートボール場 について問う



川原 拓郎 議員

【川原】 台風16号で倒壊しているゲートボール場を復旧する考えがあるか伺います。

【教育長】 企画観光課が整備を進める、「平成28年度魅力ある観光地づくり事業」の大泊海浜公園整備で大泊屋内ゲートボール場を含めた整備を計画中であり、改修・復旧を考えています。

【川原】 魅力ある観光地づくりの概要を伺います。

【企画観光課長】 観光受入れ態勢の充実を図る為、景観や、周遊スポット、地域

素材を活かしたにぎわい空間や体験空間、沿道等の整備を大泊地区で計画するものです。

【川原】 各種イベント会場として利用していく考えはないか伺います。

【教育長】 町ゲートボール協会のイベントや、佐多岬マラソン・バイクミーティング・御崎祭り・お魚祭り等の会場としての利用を考えています。

ハイビスカス 再植栽計画に ついて問う

【川原】 冷害で枯れたハイビスカスを再植栽し再生させる考えはないか伺います。

【町長】 風光明媚な佐多岬沿道の景観整備を図る為にも町花であるハイビスカスは欠かせないものと考えます。今後、地域や関係機関と協議しながら、植栽整備

の方向で進めて参ります。

高速船 (なんきゅう)に ついて問う

【川原】 根占・指宿間の運行は定期航路となるか伺います。

【町長】 根占・指宿間を20分で結ぶ高速船の運行が、平成29年4月より予定されています。現在の計画では、1日6往復、計12便の定期航路での運行が予定されています。

【川原】 観光を含めて利用促進をどのように進めるか併せて錦江湾周遊ツアー等計画できないか伺います。

【町長】 根占港へ降りた後の2次交通の利便性を図る事や本航路を利用してきた来訪者へのおもてなしなどについて、観光協会や関係機関と協議検討します。また、計画される運行形態が

定期航路の為、錦江湾周遊などの多目的な運行は想定されていません。

地域高規格道路 大隅縦貫道に ついて問う

【川原】 大中尾・大竹野区間が概略設計に入っていると聞か、進捗状況を伺います。

【町長】 鹿児島県に照会したところ、今回の業務は事業化が図れるか判断する為の可能性調査であるとの事でした。

【川原】 早期着工の機運を高める為、看板を設置する考えはないか伺います。

【町長】 大隅縦貫道整備促進協議会等でも前向きに検討して参りたいと考えます。

【川原】 第2回の決起大会の考えがあるのか、あるとすれば佐多地区での考えは

ないか伺います。

【町長】 平成28年度も準備を進めていましたが台風16号の為、やむを得ず開催を中止したところであります。

県道内之浦・ 佐多線について 問う

【川原】 センターライン・幅員の白線が消えて夜間、濃霧の発生時期は通行しにくい状況にある。反射鏡の設置、白線引直しを県に要請する考えはないか伺います。

【町長】 平成28年2月に県への要望はしております。今年度は、当区間のセンターラインのみを損傷程度に応じて3km程度補修を予定しており、平成29年1月に発注予定との事であります。

介護保険事業について問う



大久保 孝司 議員

【大久保】 介護保険事業の財政運営は、今後円滑に進められる現状か伺います。

【町長】 財政運営は、第6期介護保険事業計画に沿った形で概ね順調に推移していると判断していますが、施設利用者等に係る給付費が年々増加しており昨年度の決算額は、2千9百万円の増となっております。こうした中、来年度は第7期に向け計画や保険料の見直しがおこなわれます。

【大久保】 介護保険基金が急速に減少する中、平成30年度からの3か年の保険料をどの程度と予想されているのか伺います。

るのか伺います。

【町長】 現状維持の保険料で運営できることが最善策であり、望ましいと考えますが、進展する高齢化や若者が減少していく現状等を考慮すると、幾分か増額改定になる事は避けては通れないと考えます。現段階での被保険者数や認定者数及び給付費等の伸び率を参考に推測すると、基準額の5段階で、概ね現行から7千円前後の間で算出されるところと考えます。この金額はあくまでも現状における推測である事をご理解願います。

【大久保】 一般会計繰入れを事務費以外で適用されることはないか伺います。

【町長】 平成29年度より地域支援事業の内、一般介護予防事業等につきましては

一般会計へ移行するとされており、その歳入は普通交付税で対応するとされています。また、給付事業の移行は歳入面での対応が難しいと考えられますので、介護保険法に照らし国の動向を見ながら検討致します。

ふるさと納税推進事業について問う

【大久保】 新たに進められたふるさと納税の現状について伺います。

【町長】 4月当初20事業者、89品目でスタートした取組でございましたが現在では、27事業者123品目に拡大しており、4月からの寄付申し込みも12月11日現在で1414件で3千4百36万7千9百46円となっております。

【大久保】 返礼品として特産品の拡充やPRに努められたと思うが、活かされて

いるか、また地域活性化を図る為に、どのように活用されていく考えか伺います。

【町長】 返礼品をインターネット環境で全国に示すことで、本町の農産物や加工品等広くPRでき、特に黄金カンパチや最南豚などその名を全国に売り出すことが出来ています。また、返礼品の為に新たに開発された特産品もあり、返礼品の出品者や出品を考える町内商工業関係者にも生産、販売意欲が高まってきたという状況であります。今後は、全国各地からの寄付金を有効に活用し地域活性化に努力して参ります。

【大久保】 農家が農協に出荷する農作物は、全て秀品です。そういったものこそ本町の特産品としてPR出来ると思います。また、農協としてもPRに繋がると考えます。町が農協にふるさと納税への協力をお願いする事が私は必要だと思えます。町と農協がタイアップする事が重要だと考えま

す。

農道路面補修について問う

【大久保】 農業高齢化が進む中、農業機械事故防止の為、未舗装農道の路面補修をしていく考えはないか伺います。

【町長】 平成27年度から新規事業として、農作業軽減支援事業により、原材料等の支給により個人でも圃場への乗り入れ口等の整備が出来るようになりました。農業従事者については、年々高齢化が進む事が懸念され、直営施工による整備が難しくなる事が予想されます。今後も、地域の要望や現状を把握しながら制度設計を行うと共に中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金事業等を推進し、農業従事者が効率的な営農を展開できるよう努めて参ります。

技術員採用について問う



持留 秋男 議員

【持留】 農業振興の一環として、野菜及び畜産の技術員を採用する考えはないか伺います。

【町長】 第一次産業の振興には、生産所得の増大が必要であり、耕種農業、畜産業の安定的経営の為に、優秀な指導者が必要である事も十分認識しており、技術員採用に向け取組んでおります。

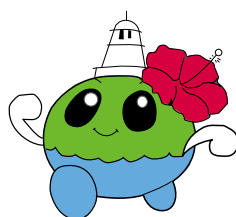
【持留】 現在の園芸の技術職員は優秀で、園芸の百科事典の様な方だと思っております。これまで通りの技術指導を継続していく為にも早急に新たな技術員の採用を要望いたします。

用を要望いたします。

【持留】 佐多支所に畜産の技術員は配置出来ないか伺います。

【町長】 現在、畜産の技術員は2名で、主に肉用牛部門の技術指導及び補助事業並びに単独事業の事務全般を行っております。佐多支所への技術員の配置につきましては、十分理解するところでございますが、現在の技術員数、業務内容を考えますと、本庁への配置が効率的であると考えます。

【持留】 来年の宮城全共を含め、5年後の鹿児島全共で本町の名声を高める為にも技術員の佐多支所配置を要望いたします。



大泊ゲートボール場改修及び周辺整備について問う

【持留】 台風16号により現在まで倒壊したままで佐多岬入口でもあり、非常に見苦しい状態であるが、改修しないのか伺います。

【教育長】 大泊屋内ゲートボール場の復旧につきましては、現在、平成30年の佐多岬リニューアルに向けて、国、県町による整備が着々と進む中、企画観光課が整備を進めております平成28年度魅力ある観光地づくり事業の大泊海浜公園整備で大泊屋内ゲートボール場を含めた整備を計画しており、改修復旧を考えております。

【持留】 「魅力ある観光地づくり事業」で改修復旧したいとの事ですが、企画観光課長の話では、事業内容ははっきりしていないとの話でした。あのままでは非常に見苦しいと思うが、撤去だけでも早急に実施出来ないか伺います。



【持留】 以前、ハマグリ養殖をしていた周辺の整備はできないか伺います。

【町長】 この施設等には、配電盤・冷蔵庫・コンプレッサー等、一般処理できない機械類があるため、これらの撤去費用に対し、今回12月会議に補正予算として計上させていただきました。ハマグリ養殖施設については、今後に於いても利活用の計画もなく、また老朽破損も著しい為、今年度中に施設撤去を完了する予定であります。



地域活性化事業 について問う



浪瀬 敦郎 議員

【浪瀬】 チャレンジ創生事業の活用状況と執行状況について伺います。

【町長】 活用状況は、主に、敬老会、グラウンドゴルフ大会、清掃美化活動等に活用されるほか、かかし制作や自治会のフェースブック等特色ある事業を実施する自治会もあります。執行状況は117自治会・連絡会のうち72自治会・連絡会が交付申請を行っております。

【浪瀬】 地域担当職員の関わりについて伺います。

【町長】 チャレンジ創生事業との関わりについては、

申請促進や、補助対象事業の掘り起し、申請書類作成補助等を自治会と連絡を取りながら行っています。

【浪瀬】 事業内容の拡充は考えられないか伺います。

【町長】 事業内容の拡充につきましても、来年度予算編成の作業の中で今後検討していく事としていますが、各自治会の御意見を賜りながら、より利用しやすい制度内容にしたいと考えます。

多目的健康広場 について問う

【浪瀬】 計画概要と完成時期を伺います。

【町長】 多目的健康広場整備事業につきましてはグラウンドゴルフ協会等の愛好者の皆様より多くの要望があり、計画しているところであります。老若男女どなたでも快適に利用ができ、運動交流の環境づくりや健

康づくりの為、多目的に利用できる広場の整備を目的としています。概要については、塩入団地周辺の約6千6百平方メートルを客土し、休憩施設やトイレ・倉庫と併せて駐車場の整備も行っていく計画です。完成時期につきましては、今年度中に事務手続きを終え、平成29年度事業として実施完了の予定です。

【浪瀬】 完成後の利用方法並びに活用策を伺います。

【町長】 今後、利用者等のご意見を十分お聞きしながら町民誰もがいつでも利用しやすい広場として、利用方法や手続きの在り方について条例等の整備を進めてまいります。今後の活用策については、周辺一帯をネッシー館やなんたん市場、ふれあいドームなど、関係施設の相互利用も併せた交流ゾーンと位置付け町内外を含めた大会等の誘致や利活用策もグラウンドゴルフ協会等と協議しながら交流人口が増えるように推進し

ていきます。

【浪瀬】 子どもの為の遊具の設置やゴルフの打放しなどの利用は出来ないか伺います。

【町長】 遊具の設置は考えていません。グラウンドゴルフを想定したもので、通常のゴルフの打放しは想定しておりません。

パノラマパーク への改良事業に ついて問う

【浪瀬】 事業規模と完了年度はいつを予定しているか伺います。

【町長】 パノラマパークへのメインルートとして、町道の改良整備を全延長で3千8百メートル計画しています。当事業は平成27年度着工し平成27年度の改良済延長は392メートルで平成28年度の計画延長は600メートルで今年度末の

進捗率は26%と見込んでいます。完成は平成31年度を目指しているところです。

【浪瀬】 完了後、観光客を見込んだ沿道や周辺地域を横別府地区の観光ゾーンとして位置付け、誘客等の事業計画は考えられないか伺います。

【町長】 横別府地区においては、パノラマパーク西原台を拠点とした体験型観光事業等による誘客などが考えられます。また、平成32年には鹿児島国体自転車競技開催が決定し、沿道や周辺地域を含めた観光基盤整備が必要と考えられることから、今後、十分検討して参ります。

御崎祭り

2月18・19日

北西の風が吹き肌寒い中、岬に春を告げる祭りとして知られる御崎祭りが、二日間にわたって開催されました。



鹿児島県の無形民俗文化財にも指定されたこの祭りは、御崎神社の妹神が、ご神幸の神輿に乗って、約20km離れた郡にある近津宮神社の姉神に、新年の挨拶に行くと言われるお祭りで、一日目は七浦をめぐる巡幸が行われ、このご神幸にあわせて七つの集落でも祭りが行われます。二日目は、旧郡小学校の仮宮で一晩過ごされた妹神が姉神に対面される儀式が行われ、無事再会をはたされました。また、五穀豊穡を祈り、打植祭りや神舞も奉納されました。地域を守りながら、受け継がれてきた伝統文化を味わう為に、早春の岬を訪れてみては如何でしょうか。



編集後記

春一番が吹き、早春の風が少しずつ肌に優しく感じられるようになってきました。木の芽お越しが降るたびに、庭先の草木が芽吹きだし、世の中が色づく季節には、心も体も元気をもらえる様な気がします。

また、薄ぼんやりとたなびく霞もこれから先の風物詩のひとつです。ちなみに春には霞（かすみ）と言いますが、秋には霧（きり）と呼び分けます。また、夜には朧（おぼろ）と呼び分けるのも、味わい深い日本語ならではの楽しみ方です。

山菜や筍など、豊富にとれる、これからの季節を自分ならではの楽しみ方で、過ごしてみても如何でしょうか。

いつも「みんなの議会」を読んでいただき、ありがとうございます。少しでも議会の活動状況、町が抱える問題点等を皆様方にわかり易く、親しみのある紙面づくりをと心がけております。議会に対するご意見やご感想をお待ちしております。

水谷 俊一

【お知らせ】

3月会議は、本町議会議場で開催されます。一般質問等、「議会だより」では見えない議会が、ご覧になれます。多くの方の傍聴をお待ちしています。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。



【発行責任者】

議長 大村 明雄

【広報編集委員会】

委員長 水谷 俊一

副委員長 川原 拓郎

委員 浪瀬 敦郎

委員 持留 秋男

委員 大久保 孝司

委員 井之上 一弘

議会を傍聴してみませんか！